

学校教育目標

☆学ぶ力のある子 【知育】
☆心の豊かな子 【徳育】
☆たくましく生きる子 【体育】

あけとの子

活かに満ち さわやかで 心なごむ学校

深谷市立明戸小学校

令和4年2月号

発行令和4年1月27日



春を待つ・・・心

深谷市立明戸小学校長 強瀬 雪乃

大寒を過ぎ、芯から冷えるような毎日の朝。

マスク越しに、「学校さんぽ」をしている地域の皆さんと児童が元気にあいさつを交わしながら登校しています。登校指導をしつつ校庭の大けやきや冬枯れの木立を見上げると新しい芽が膨らんできています。

寒い季節に、草や木の芽がわずかに萌えだしていることを、冬萌と呼ぶそうです。春になると突然芽を吹き、花を咲かせるような印象を受けますが、葉を落とした後、ちゃんと次の準備をして冬を越すのです。

木々たちの暦にも、春を迎えようとしていることが記されているようです。残すところ今年度も2か月。あけとの子も、春への準備を始めています。

暦の上ではまもなく立春を迎えます。日本は、一年のうちで最初に花が咲く「春」という季節を一番大事にしてきました。それは、稲を作り始める時期が、春だからだそうです。「冬」というのは、自然や生命の塊が、「殖える」という「殖ゆ」からきた言葉だと言われています。冬の間、自然や生命がどんどん殖えて、蕾となっているわけです。この蕾が、春になると、はち切れんばかりに膨らんでいきます。蕾が張って外に現れる季節を、「春」と呼んだようです。



コロナ禍の中、子どもたちの屋内外での生活体験や自然体験が、生活様式の変化にともない極めて少なくなっていることから、感覚をとおして事象を感じとるという感性が弱まってきています。そのため、季節の変化を体で感じとり、自然の中で生かされているという感性を育むことが、大きな課題の一つになっています。

自然の価値を感じとる豊かな感性なくしては、人の心も感じるができないと言われていきます。

子どもたちの感覚や感性を豊かにするためには、今の季節の変化を様々なメッセージとして受け止めさせることが大切です。感性というと「見る」ということに終始しがちですが、風の音を「聞く」ことや、花の甘い「におい」というように、目、耳、鼻、口、皮膚という、あらゆる感覚で季節を感じとることはできると思います。四季の花や、朝夕の風を感じ、周りの人のさりげない愛に感謝できる豊かな感性（心）を育みたいものです。

まずは、日頃の感謝をすること、気持ちをあらわすあいさつは、相手を感じる大切な感性の一つだと考えます。毎日繰り返していきましょう・・・。

「おはようございます。」 「ありがとうございます。」

2月の行事予定



日	曜	日課・業前	行事等	日	曜	日課・業前	行事等
1	火	学びの時間	小中連携協議会	15	火	朝会	12年生授業参観・懇談会
2	水	学力向上タイム	6年生PTA広報写真撮影	16	水	学びの時間	34年生授業参観・懇談会
3	木	学力向上タイム	5年生プレチャレンジテスト	17	木	読書	
4	金	業前運動		18	金	業前運動	ひまわり・けやき・たんぽぽ授業参観・懇談会
5	土			19	土		
6	日			20	日		
7	月	朝清掃		21	月	朝清掃	
8	火	学力向上タイム	5年生まごころ出張授業	22	火	学びの時間	56年生授業参観・懇談会
9	水	学力向上タイム	5年生キッズガーデンが教室	23	水		天皇誕生日
10	木	学力向上タイム		24	木	読書	クラブ
11	金		建国記念の日	25	金	業前運動	新入生入学説明会
12	土			26	土		
13	日			27	日		
14	月	朝清掃		28	月	朝清掃	



新型コロナウイルス感染防止の対応について

1月21日（金） 新型コロナウイルス感染症にかかる まん延防止等重点措置が1都12県に適用されました。

今回のオミクロン株の第6波は、これまでの株と比べ物にならないくらい強い感染力をもっており、予想以上の勢いで感染が拡大しています。ワクチン接種を2回した大人も罹患してしまう事例や、濃厚接触者の条件に当てはまらなくても小学校内でクラスターが起きはじめています。誰が感染してもおかしくない状況です。幸い、感染したとしても軽症で済むことが多いようですが、感染者が増加すれば医療機関が逼迫となり、本来、治療しなくてはならない方の治療が遅れてしまうことにつながります。社会全体の事を考え、今後も感染拡大を最小限に抑えていく必要があります。

明戸小学校では、学校関係者に陽性者があつたとしても、学校生活において感染者を出さなように「新しい学校生活」を見直しました。見直した Version 5 は、児童も再確認しています。また、学校行事についても下記のように中止や延期したり、方法を変えて実施したりする計画を立てています。

- 委員会・クラブ・・・まん延防止等重点措置が解除されるまでは実施しない。
- 来年度入学児童新入生説明会（2/4）・・・令和4年2月25日に変更
- 授業参観・懇談会・・・2/11にまん延防止等重点措置が解除されなければ中止
- 学校運営協議会・・・2/11にまん延防止等重点措置が解除されなければ紙面説明
- 学校支援の方への感謝の会・・・学校にご招待はせずに別の方法で実施
- 6年生を送る会(3/3)・・・全校で集まって取り組まずに、オンラインで実施
- 卒業証書授与式(3/23)・・・来賓はご招待せずに児童(6年生のみ)・職員・保護者(参加人数は未定)で実施

「また、縛られた生活に戻ってしまうのか」と気持ちが下向きになるかもしれませんが、明戸小学校では、さらに右記の掲示物を各学級や校舎内に掲示しました。

右記の俳句は、俳人夏井いつきさんの句です。

「マスクを鳩（はと）のように放つ日はきます」

という希望の俳句です。「青き踏む」が、季語になり新しく芽生えた青草を踏むことです。青は、新芽の色やすがすがしさの中に希望や、未来が感じられます。

この句を掲げて、青空に向かってマスクを放つ日が、もうじき来ることを楽しみに生活していきます。

